

いちのみや通信

岡山県立
岡山一宮高等学校PTA
(第46号)

ご挨拶



PTA会長

竹原 和志

日頃より本校のPTA活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。令和7年度のPTA会長を務めさせていただきます竹原和志(たかし)と申します。私自身のPTA活動は今年で4年目となります。3月に上の娘がこの学校を卒業し、入れ替わる様に下の娘が入学しましたので、1年生の保護者ながら令和6年度に引き続き7年度のPTA会長を務めさせていただきますこととなりました。

本校は岡山県高等学校PTA連合会(県高P連)内の岡山市内高等学校PTA連合会に所属しています。令和6年度、7年度は輪番制により県高P連の会長校に指定されており、県高P連では私が会長、甲本校長

先生が副会長を委嘱されています。この県組織の最上位に一般社団法人全国高等学校PTA連合会があり、全国の高等学校での諸問題を精査し、文部科学省に要請を行うこともできる組織です。

話は変わりますが、皆さんのPTAに対する印象はどのようなものでしょうか？ 煩雑、加入の必要性、会費等の問題、また活動されている方、されていない方(出来ない方)との不公平感等が挙げられるのではないのでしょうか？ 私が実際に経験した本校のPTA活動に関して、たしかに煩雑という印象は否めません。しかしながら始めから「出来る事」を「やれる人」が「やれる時」に！ のス

新たな出発の年に



校長

甲 本 龍 平

日頃より岡山一宮高等学校の教育活動並びにPTA活動にご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございます。

令和7年4月8日、新たな320名の新入生を迎え、進級した2・3年生とともに1学期が始まりました。今年度は、スーパーサイエンスハイスクール(SHS)の最終段階となる「先導的改革期」指定校として、第1学年から新カリキュラムでのスタートとなりました。「先導的改革期」は、今年度全国3校のみの指定

タンスで臨めば楽な気持ちで物事に向き合うことができるようになります。他の役員さんや評議員さん、保護者の方々に助けられ、本校のPTA活動は成り立

つています。本年度も様々な活動を予定しています。お手すきの際にはお手伝いだけいただけられます。また、お時間に余裕がある時には保護者参加型のイベントにぜひ参加いただけたらと思います。お子様の通う本校の雰囲気を感じていただき、ご意見ご要望がありましたら遠慮なく

お申し付けください。イベント後のアンケートで「学校の雰囲気良かった」「参加されていた保護者と情報交換が出来た」等の肯定的な声は次のイベントへの力になります。また、修正点についてのご意見も色々と勉強になります。本校のPTA活動をより良いものにしていくため、ご協

力よろしくお願い致します。最後になりますが家庭でのお子様と話す時間も今までより多く設けていただき、お子様目線での本校の問題点等もご意見としていただけたらと思います。学校と協議し、よりよい方向に進めるように努めてまいります。よろしくお願い致します。

方々、そして地域の中学生や住民の方々に認められる存在でい続けるためにどのように変化を続けるべきかを考えるため、「将来構想推進チーム」を中心に検討を始めています。さらにこの検討のためには、生徒、保護者の方々の意見を尊重することが重要です。毎年いただいている学校評価アンケート等を詳細に分析し、「不易と流行」を大切に、検討を続けていきます。今後も前向きなご意見をいただきたいと思います。

で、名前の通り全国を先導し改革を続ける力のある証となりました。今までの生徒の活動や成果、学校としての取組が認められたことは本当にうれしいことで、この貴重な機会を本校に集う生徒、教員の資質向上のために積極的に活用していきたいと考えます。ぜひ保護者の皆様もご協力ください。さて、新年度が始まり、本校は46年目が動き出しました。校内では、創立半世紀を4年後に控え、本校がこれからも生徒や保護者の

「変わることが学ぶこと」「勉強するから、何がしたいか見えてくる」「自分の中に目標という『卵』を持つ」、そして結びに、小柴昌俊さんの著書「やれば、できる」から「ぜひ、自分の人生を精一杯楽しんで欲しい」「楽しむとは、自分の意志で積極的に取り組むこと」とだと伝えました。生徒のみなさんが、自身を探究し、本当にやりたいことをしっかりと見極め、卒業の時に大きく成長した自分に出会うため、日々の生活も楽しみながら、ワクワクした気持ちで過ごしてもらいたいと思います。ご家庭でもお子様が挑戦できる場を支えていただけたらと思います。今年度も、どうぞよろしくお願い致します。

PTA+Sを目指して

総務課長 山本 俊輔

総務課長となり2年目を迎えました。私自身、教員生活で「総務課」という分掌を担当するのは昨年度が初めてでした。その中で「PTA」との関わりということにおいても、初めての経験ばかりで、昨年度はPTA会長と相談をしながら、PTAクリーン作戦、PTA岡山大学訪問、銀杏祭文化の部PTAバザー、PTA受験座談会など様々なPTA行事をご一緒させていただきました。

どの行事に際しても、保護者の方々の積極的な参加と熱心に活動されている姿を見て、岡山一宮高校の保護者の方々のパワーを感じました。

ただ、「PTA行事」といいながら「保護者（P）」だけの行事」という印象も受けました。せっかくクリーン作戦や受験座談会を開

催されるのであれば、その行事に「教員（T）」、さらには「生徒（S）」も参加できるようにすれば、教職員と保護者の関係、生徒との関係も深まり、PTAの活動としてさらに良いものになっていくのではないかと感じました。

昨年度の経験を活かし、今年度はPTAの活動に教職員（T）、生徒（S）が参加できるように、声かけや仕組みを考えていきたいと思っていますので、よろしく願います。

行動に注意を払い、気にかけていたり心配したりしている大人もいる」といった視点で関わりを持つ。

私たち一宮高校保導部は、一宮高校の生徒の下校時間に合わせて、岡山駅周辺や表町での子どもたちが集まりやすいイオン岡山やドンキホーテ、カラオケボックスなどでの通常保導や、一宮高校の生徒が多く利用する桃太郎線や津山線に乗りし列車内を保導しています。

生徒たちを学外で見守るー

保導活動にご理解を

保導部 鬼山 昌典（市内高P連保導部長）

岡山一宮高校は、岡山市内の高等学校PTA連合会に所属しています。一宮高校の教諭と評議員である保護者で、長年に渡り岡山市内にある全ての高校の教諭や他校の保護者の方たちと班体制を作り、行動を共にして保導活動を行っています。

現在の保導部というものが、PTA連合会に設立されて76年が経過しました。これは私たち親の世代が高校生の頃から存在していたことになりました。

【保導の意義と目的】

- ・保導委員は、生徒の保護善導を意識して保導にあたる。
- ・非行少年やそのおそれのある少年、或いは、いろいろな問題を一人で抱え込み、様々な理由で社会に順応できない少年たちに声をかけ、その行為や原因、動機などについては、関係機関に連絡するなど、少年たちの処遇に最も良いと考えられる措置を講じる。
- ・地域で少年と出会い、ふれあう中で「少年たちの

列車保導の際には、津山線と桃太郎線はワンマンカー運行のため実施されていませんが、その他の路線を列車保導する際には、保護善導を目的としたアナウンスが入ったICレコーダーを車掌さんをお願いして、列車内で放送をしてもらっています。

また、年に数回は校カーニバルや烏城夏まつり、おかやま桃太郎まつり、西大寺会陽、ハロウィンを特別保導として行っています。

一宮高校の評議員の皆さまにおかれましては、保導活動に参加することで、子どもたちへの見守りや声かけをするだけでなく、他校の教諭や保護者と交流し

情報共有の場としても活用し、保導活動を通じて学びと気付きを得ていただいています。

保導には将来とも終着駅がないばかりでなく、その内容は益々重要性が加わってくるように考えられます。保導委員の方たちは、それぞれ仕事や家庭の用事の傍ら、この重任をお引き受けいただいています。そ

のご苦労は大変なものです。が、その実績が漸次一般から認められていることは、誠に喜ばしいことだと思います。

結びになりますが、新学年になり新たに評議員になられた皆さまにおかれましては、保導活動にご理解ご協力いただきますよう、よろしく願います。

令和7年度PTA行事予定

- | | |
|---|--|
| ○5月28日(水)
令和7年度岡山市内高等学校PTA連合会総会（学外） | ○9月6日(土)
銀杏祭文化の部バザー（学外） |
| ○6月23日(月)
令和7年度岡山県高等学校PTA連合会表彰式・総会・研修会（学外） | ○9月27日(土)
岡山県高等学校PTA連合会会長研修会（学外） |
| ○6月末頃「いちのみや通信」第46号発行 | ○10月
校内クリーン作戦（オープンスクール前） |
| ○7月1日(火)
保護者岡山訪問（学外） | ○10月22日(水)
第二回PTA評議員会 |
| ○7月
保護者向け受験懇親会 | ○11月
岡山県高等学校PTA連合会指導者研修会（県教委共催）（学外） |
| ○7月10日(木)～11日(金)
第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会「島根大会」（学外） | ○12月
合格祈願カイロ折祷（吉備津彦神社） |
| ○8月20日(水)～22日(金)
第74回全国高等学校PTA連合大会「三重大会」 | ○2月13日(金)
第三回PTA評議員会 |
| | ○2月末頃「いちのみや通信」第47号発行 |